

5 / 2 5 (日) は運動会です。
応援よろしくお願いいたします！

令和7年度 上山小学校だより

スマイル上山



第3号 令和7年5月12日(月) 校長 古野 祐一

スマイル上山の挨拶相撲！

5月7日(水)の全校集会で、「挨拶相撲」の話をしました。先に挨拶ができれば勝ちというルールです。普通の相撲は負けると悔しいのですが、この挨拶相撲は負ければ負けるほど嬉しくなるのが面白いところです。勝っても負けても幸せという、まさにスマイル上山が目指すところです。

話だけではうまく伝わりませんので、寸劇にしました。6年生にボランティアを依頼したところ、多くの立候補者から10名を選出。劇団スマイルの発足です。役割は、朝から見かける次の6パターンの姿です。

- ①元気よく挨拶を返す児童(一人)
- ②自分から先に挨拶をしてくる児童(一人)
- ③挨拶に反応せず、話に夢中になって素通りする児童(三人)
- ④近くに来て挨拶、加えてお礼も言う児童(二人)
- ⑤話をしていないけど反応しない児童(二人)
- ⑥挨拶に反応して頭だけ下げて通り過ぎる児童(一人)

見ていた子供たちは、6年生児童の上手な役割演技に、自分の挨拶と重ねながら振り返っていました。驚いたのは④の御礼を言う演技の後、自然に拍手が沸き起こったことです。

劇団スマイルのお陰で、翌朝、子供たちの挨拶が激変しました。先に挨拶をして「勝った！」と喜ぶ子供。これまで素通りしていた児童も意識して挨拶を返してくれるようになりました。この良い行いをすぐやってみようと行動に移す素直さが、上山っ子の素敵なおところ

です。地域の交通指導をしてくださっている方々にも、お礼の気持ちを込めて挨拶をするのが次の目標です。いつでもどこでも行動できる一段レベルが高い振る舞いを、子供たちと目指しています。上山っ子の幸せを届ける挨拶の推奨を、家庭でも話題にし、声掛けをいただければ嬉しいです。

地域に守られているスマイル上山！

5月7日(水)の夕方、西小路町の平野町内会長さんが来校されました。「体育館下の道路に桜の木が落ちている」と、地域の方が知らせてくださったようです。現地を古川教頭と確認し、その場ですぐに諫早市教育委員会に電話していただきました。お陰様で、翌日早々に、市教育委員会総務課の方が業者の方と一緒に来校し、現場確認と木の枝の伐採に係る見積もり依頼をしていただきました。あらためて、子供たちは地域に守られ、地域で育つのだと感謝の思いでいっぱいになりました。これからもスマイル上山を、地域の皆様と協力して創ってまいります。



挨拶の演技をしている6年生。



6年生の演技を真剣に見る児童。



劇団スマイルの10名に拍手。



道路に落ちていた桜の木の枝。